

様式第3

会 議 録

会 議 名	令和元年度第2回野田市保健医療問題審議会
議題及び議題毎の 公開又は非公開の別	第2次野田市食育推進計画の策定について（公開）
日 時	令和元年10月30日（水） 午後1時30分から午後2時15分まで
場 所	保健センター3階大会議室
出席委員氏名	門倉 正樹、金本 秀之、秋田 茂、石塚 勝巳、 渡辺 浩之、太田 央子、張替 洋子、松本 良二
欠席委員氏名	小張 力、鈴木 隆一、種村 伴子、清岡 智、 石井 徳子、高瀬 峰子
事務局等	今村 繁(副市長)、直井 誠(保健福祉部長)、中代 英夫 (保健センター長)、平野 健一(農政課長)、大月 聡(高齢 者支援課長)、川野 尚武(生涯学習課長)、船橋 高志(学 校教育課長)、小沼 京治(清掃計画課長)、岡田 勇貴(保 健センター長補佐)、東風谷 一(介護保険課長補佐)、武田 真弓(保育課長補佐)、秋鹿 弥由紀(保健センター健康増進 係長)、大杉 美佐絵(学校教育課保健給食係長)、木村 文 子(保健センター主任技師)、近藤 のぞみ(保健センター主 任技師)、北原 千鶴(保育課主任技師)
傍 聴 者	無し
<p>令和元年度第2回野田市保健医療問題審議会の会議結果(概要)は、次のとおりである。</p> <p>岡田保健センター長補佐 定刻となったので、令和元年度第2回野田市保健医療問題審議会を開催する。委員定数14人のところ8人の出席があり、委員の半数以上が出席されているので、野田市保健医療問題審議会条例第6条第2項の</p>	

規定により、本審議会は成立している。なお、会議録作成のため、録音することに了解をお願いする。本審議会の公開、傍聴については、原則公開とされていることを報告する。次に、資料の確認として、事前に委員に配布した資料、座席表、委員名簿、写真やイラストを掲載した計画素案である。なお、野田市保健医療問題審議会条例の一部改正を含む、附属機関の学識経験者の委員の構成区分の見直し等に伴う関係条例の整備に関する条例が議決され、10月1日に施行されたことから、委員名簿の選出区分の表記が変更になったことを報告する。また、公募委員として委嘱した太田雅康委員が公募委員の資格要件を欠いたことから、1名欠員として対応する。議事進行については、野田市保健医療問題審議会条例第6条第1項の規定により、会長にお願いする。

金本会長（会長挨拶）

金本会長 本日、傍聴の申込みはなかったが、会議の途中に傍聴の希望があった場合には、5人以内で入室を認めることとする。それでは、「第2次野田市食育推進計画の策定について」を議題とする。計画の素案について、事務局から説明を求める。

中代センター長（前回の審議会での委員からの意見の対応について説明する。）

岡田センター長補佐（第2次野田市食育推進計画の素案について説明する。）

金本会長 ただ今の説明に対する質疑に入る。質問や意見があればお願いしたい。

石塚委員 いろいろな人たちが絡み、非常に幅が広い関係者が多い中で、計画を見るといろいろなことが書いてあって、どれもごもつともなことであるが、数値がほとんど悪化している。一生懸命の努力が実を結んでいない印象がある。どうしてこうなったのか深く考えないと、また同じ結果になってしまう心配がある。市役所の関係する部署はたくさんあるが、横の連携がどうなっているのかをお聴きしたい。目標を具体的な計画にして、どう実行するかが大切であって、そういう実行部隊の横の連絡があるのかどうか。市が一方的に上から下に流しているのか、連絡協議会を開いているのかをお聞きしたい。同じことをやっていたら同じ結果になるのではないかと心配している。

中代センター長 食に関しては、学校、保育所、保健センターにそれぞれ栄養士

があるので、生産者が作ったものをどのようにメニューに取り込んでいくのか、また、食生活改善推進員の役割などを、一つのテーマに向かって市役所の中で、統一的に話す定期的な機会は今のところ設けていない実態がある。各部門でそれぞれの施策をやっており、統一的な目標のテーマに沿った講演会や教室を行っていないのが現状である。食と健康に関連した団体として、保健所が所管である野田健康づくり協議会で各団体や企業が一緒にどういった啓発をしていけば浸透していくかなどの活動をしている。

張替委員 59ページの目標値で、目標値がほとんど達成していない結果であったが、計画期間が終了する令和6年度に確認するだけでいいのか。またできませんでした、未達でしたということにならないかと心配する。具体的な施策が読み取れないが、どんなふうに行うのか、具体性のある計画を立てた方がよいのではないかと。

金本会長 途中で評価をして、2年から3年の辺りで中間評価をして方向性を確認するような試みが必要であると思う。

中代センター長 取組が良い方向に進んでいるのか、もっと良い方法があるのかを見直すためにも、第1次の計画では中間報告については行っていないが、第2次の計画については中間報告を行っていくことで委員の意見を頂きたい。

松本委員 人の生活習慣を変えるのは難しい問題があって、一歩下がって論理的に見ると、こうした方がいいとか、ああした方がいいとかの考えになるが、実は、人間はそのようには動かないというのはもう分かっている。なかなか論理的には判断することがない。計画の中で論理的にいっぱい書いてあるが、これを押し進めても、恐らくまた同じようなことが起こる。野田市が一生懸命考えて、いろいろなことを行うのは良いことだけれども、先進地域のうまくいっている所の地域から人を呼んだらどうか。公衆衛生でナッジという言葉がよく使われるが、ちょっと押してあげるとうまくいくということで、そういったことをやった方がいいのではないかと。論理的には正しくてもなかなかうまくいかないことがある。国の計画である健康日本21でも、メタボリックシンドロームがうまくいかなかったことが言われている。そういったことをやった方が一番近道ではないかと思うが、何か計画されているのか。

中代センター長 専門家の意見を聴いた方が良いという意見だが、計画策定に当たっては、そのようなことは考えていなかった。各部署や各団体等が今までやっていないことが多くあるので、ボランティア団体を含めて、市も間に入りながら一緒にやっていくという進め方としていきたいと考えていた。委員の意見として、精通している方の意見を聞きながら作っていった方が良いということであれば、そのようにしていきたい。

松本委員 うまくいっている地域はあるわけだから、そういう所を探して、何がうまくいったのかを検討したら良いと思う。ほかのことでもあると思うが、何かちょっとしたきっかけでうまくいくことがある。論理的に正しいことを人に押し付けても、大体うまくいかない。

金本会長 先進的に良い事例が多々あるわけで、是非そういうものを我々も聴きたい、見たいので、そういう広い面を持って探していただきたい。我々も探して提案するということで、委員の中からでも提案できるようにしていきたいと思うので、よろしくお願ひしたい。ゆめめぐりで今何が売られているか、何が旬なのかを市役所の中で分かるようにはできないか。そうするともっともっと情報が皆に広がっていく。ゆめめぐりまで行かないと分からないという状況では、あそこが沈んでしまっていると思う。もっと情報を発信できないか。

平野課長 イベントについては、市の職員に対してこういったイベントがあることを発信している。会長から御指摘があったことについての調整は行っていないので、今後考えていきたい。

金本会長 是非市民に対してもっとアピールしていただきたい。ほかに質疑はないか。それでは、質疑で出された意見を事務局で調整後、会長確認の上、計画に反映させたい。会長に一任いただければと思うがいかがか。

(異議無しの声有り)

金本会長 そのようにさせていただく。事務局案のとおり決定することに異議はないか。

(異議無しの声有り)

金本会長 第2次野田市食育推進計画の素案について決定した。続いて、パブリック・コメント手続の実施について、事務局から説明を求める。

中代センター長 （パブリック・コメント手続の実施について説明する。）

金本会長 ただ今の説明に対する質疑に入る。質問や意見があれば、お願いします。事務局案のとおり、決定することに異議はないか。

（異議無しの声有り）

金本会長 パブリック・コメント手続の実施について決定した。以上で、本日の議事は全て終了したが、事務局から何かあるか。

中代センター長 次回の審議会については、来年2月頃を予定している。日程については、決まり次第、連絡する。

金本会長 以上で令和元年度第2回野田市保健医療問題審議会を終了する。